

●計画策定の根拠

- 家畜改良増殖法第3条の3
- 国の家畜改良増殖目標及び鶏の改良増殖目標（令和7年4月公表）を受けて策定
- 熊本県食料・農業・農村基本計画の下位計画
- 対象品目：乳用牛、肉用牛、豚、馬、鶏

■増殖計画策定の背景

【家畜改良増殖目標】

- ・消費者ニーズに応えた畜産物の供給
 - ・国産飼料に立脚した畜産経営の推進
 - ・悪性家畜伝染病に対応した防疫対策を実施しながら、「食のみやこ熊本県」に資する家畜を作ることを取組の基本とする。
- 目標年数：令和17年度

【鶏の改良増殖目標】

- ・国際化の進展、長期的な飼料穀物需給のひっ迫
 - ・飼料要求率の改善、生産コストの低減
- を図りながら、消費者ニーズに対応した卵質向上、肉用鶏では特に在来鶏の利用促進に向けた改良を図ることを取組の基本とする。
- 目標年数：令和12年度

新たな計画の内容及び目標

◆乳用牛分野

- 酪農経営の安定と牛乳・乳製品の安定供給を図るため、遺伝的多様性を確保しつつ、泌乳能力・体型の改良を進める
 - ゲノミック評価も活用した繁殖性、長命連産性の改良を推進
 - 搾乳ロボットへの適合性の高い体型への改良
 - 牛乳・乳製品の需要動向に即した生産を行うことを旨とした頭数目標設定
- | | | |
|--------------|-----------|-----------|
| ・乳量（ホルスタイン種） | ： 8,580kg | → 9,300kg |
| （ジャージー種） | ： 5,465kg | → 6,100kg |
| ・2歳以上の雌牛頭数 | ： 33,000頭 | → 28,980頭 |

◆肉用牛分野

- 生産性の向上のため、増体性や歩留まりなどの産肉性や繁殖性の改良
- 多様な消費者ニーズに対応するため、不飽和脂肪酸など食味に関する形質の改良
- ゲノミック評価やET技術を活用した育種改良を推進
- 性成熟を踏まえた初産月齢の適正化を推進
- 牛肉の需要動向に即して生産を拡大することを旨とした頭数目標設定

《繁殖雌牛》		《肥育牛》	
・初産月齢	： 26.3か月 → 25.3か月	・肥育開始月齢	： 黒毛和種 9.5ヵ月 → 8ヵ月
・分娩間隔	： 13.5か月 → 12.5か月		： 褐毛和種 9.5ヵ月 → 8ヵ月
《飼養頭数》		・日齢枝肉重量	： 黒毛和種 582g → +52g
・総頭数	： 133,930頭 → 135,600頭		： 褐毛和種 660g → +17g
うち肉専用種	： 111,100頭 → 114,900頭	・出荷月齢	： 黒毛和種 29.1ヵ月 → 27～28ヵ月
乳用種等	： 22,830頭 → 20,700頭		： 褐毛和種 26.2ヵ月 → 24～26ヵ月
		・脂肪交雑	： 黒毛和種 8.4 → 現状維持
			： 褐毛和種 4.4 → 現状維持

◆養豚分野

- 飼料要求率の改善等による低コストでの豚肉生産を推進
 - 繁殖能力、産肉能力等の生産性とともに肉質等の品質の向上を図り、特徴ある豚肉の生産に向けた改良を推進
 - 豚肉の需給動向に即した生産を行うことを旨とした頭数目標設定
- | | | | |
|------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 《肥育素豚生産母豚》 | | 《肥育豚》 | |
| ・1腹当たり生産頭数 | ： 11.5頭 → 12.6頭 | ・出荷日齢 | ： 185日 → 180日 |
| ・育成率 | ： 89% → 95% | ・出荷体重 | ： 115kg → 120kg |
| ・年間分娩回数 | ： 2.4回 → 2.4回 | ・飼料要求率 | ： 3.0 → 2.8 |
| 《飼養頭数》 | | ・総頭数 | |
| | | ： 338千頭 → 338千頭 | |

◆馬分野

- 用途に応じ、繁殖性や強健性、競争能力などを改良
 - 飼養頭数は、需要動向に即して生産規模拡大を推進
- | | | | | |
|---------|---------|---------------|--------|---------|
| 《農用繁殖馬》 | ・受胎率目標 | ： 75%以上 | ・生産率目標 | ： 65%以上 |
| 《飼養頭数》 | ・農用繁殖雌馬 | ： 444頭 → 560頭 | | |

◆養鶏分野

- 卵用鶏は、生産能力や消費者ニーズに応じた卵質などを改良
 - 肉用鶏は、生産コストを低減するため、増体性を改良
 - 鶏卵・鶏肉の需要動向に即した生産を行うことを旨とした羽数目標設定
- | | | | | |
|---------|---------|-----------------------|-------|------------------|
| 《卵用鶏》 | ・産卵率 | ： 88.4% → 89% | ・日産卵重 | ： 54.6g → 54～58g |
| 《ブロイラー》 | ・育成率 | ： 97% → 98% | ・出荷日齢 | ： 50日 → 49日 |
| 《天草大王》 | ・出荷日齢 | ： 124日 → 100～130日 | | |
| 《飼養羽数》 | ・卵用鶏 | ： 2,068千羽 → 2,068千羽 | | |
| | ・肉用鶏 | ： 3,969千羽 → 3,969千羽 | | |
| | うち、天草大王 | ： 120千羽 → 200千羽（出荷羽数） | | |